

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
病理細胞検査学Ⅱ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	小菅 優子 ※
授 業 概 要					
<p>病理細胞検査学は、疾病の診断、進行状態の解明に役立つ学問である。したがって、この種の学問は、解剖生理学、病理学、臨床病理学、その他に幅広く密接に関わる部分である。病理細胞検査学では、種々の病態での形態変化、病態解析のための検査方法を理解する。</p>					
到 達 目 標					
<p>器官系統別の病変・疾患について理解するとともに、臨床検査技師国家試験合格に十分対応できるところまで理解する。次いで、病理学的検査法での基本的な手法及び電子顕微鏡的検査法や免疫学的検査法、細胞学的検査法を理解し、疾患の検査にかかわる学問的体系の基礎を修得する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	<u>病理組織学的検査法</u> 染色法について：神経組織の染色法 2 染色法について：内分泌細胞の染色法 3 染色法について：免疫組織化学染色法、電子顕微鏡法本作成法 <u>細胞学的検査法</u> 4 細胞学的検査法：概要、細胞診標本作成順序 5 細胞学的検査法：検体処理の方法 6 細胞学的検査法：染色法 7 主な臓器・組織の細胞診：女性性器の細胞診 8 主な臓器・組織の細胞診：呼吸器の細胞診 9 主な臓器・組織の細胞診：消化器系の細胞診 10 主な臓器・組織の細胞診：泌尿器系の細胞診 11 主な臓器・組織の細胞診：乳腺の細胞診 12 主な臓器・組織の細胞診：体腔液の細胞診 13 主な臓器・組織の細胞診：脳脊髄液の細胞診 14 主な臓器・組織の細胞診：非上皮性腫瘍の細胞診 15 スクリーニングの目的と実際：スクリーニングの実際				小菅 優子 ※
					古田 玲子 ※
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や配付資料により予習と復習をすると理解が深まる。 ・講義は教科書及び配付資料をもとに実施し、適宜、視聴覚教材を用いて講義する。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験(70%)及び小テスト(30%)により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、病理学					
教科書、参考書					
[教科書] 臨床検査学講座 病理学／病理検査学 松原 修 他 医歯薬出版株式会社 [参考書] 月刊 MEDICAL TECHNOLOGY別冊 最新染色法のすべて 水口 國雄 他 医歯薬出版株式会社					